科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学Ⅰ		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

本科目はトリマー・動物看護師として必要は犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬・猫についての説明を行うための知識を学びます。犬猫の体の構造の基礎となる、骨格、筋肉、被毛の知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。また犬体の特徴を理解し、イラスト描かけるようになることでトリミング仕上がりのイメージや臨床現場においての説明に役立てることができます。

授業終了時の到達目標

・犬猫の骨格、筋肉、皮ふ、被毛の構造と特徴を理解する。
・様々な種類の犬体を描けるようになる。
・トリミングの仕上がりイメージを形にすることができる。
・犬と猫の解剖的特徴・生理学的特徴　主な病気について学ぶ。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

毎回の授業の復習を行い、わからないところがあれば担当教員に質問するか自分で調べる。SNS、TV、映画、書籍などで犬を見て興味を持つ。ペットショップなどに出向き販売生体を見る。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	犬学とは	犬学の概要と授業目的、成績評価方法について
2	犬体を理解する1	犬体を理解し犬体を描く1
3	犬体を理解する2	犬体を理解し犬体を描く2
4	犬体を理解する3	犬体を理解し犬体を描く3
5	骨格・犬体名称	骨格・犬体名称を理解する
6	犬の歯	歯の咬み合わせと歯数
7	犬の呼吸器、消化器	犬の呼吸器、消化器の名称と役割
8	筋肉、皮膚	筋肉、皮膚の構造を知る
9	被毛の構造	被毛の構造を知る
10	目の構造、特徴、疾病	犬の目の構造、特徴、代表的な疾病を理解する
11	鼻の構造、特徴、疾病	犬の鼻の構造、特徴、代表的な疾病を理解する
12	トリマーができる健康チェック	ペットショップで働くトリマーができる健康チェック方法
13	前期復習と振り返り	犬の体の特徴・構造のおさらい
14	ペットショップでよくある質問	ペットショップでよくある質問の解説
15	期末試験	期末試験を実施

回	テ　ー　マ	内　　容		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
くわしい犬学、授業プリント		出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学Ⅰ		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	松岡　樹

授　業　の　概　要

動物に関わる仕事に就くためには動物の健康を守らなければいけません。動物の健康を守るために公衆衛生学で感染症や消毒のことについて学習します。普段の掃除や動物の取り扱いをする際に、何に気をつけなければいけないかを知ってください。

授業終了時の到達目標

・感染症についての正しい知識を身に付ける。
・飼い主様にワクチン、寄生虫についての説明ができる。
・正しい消毒方法について理解し、その場に合ったものを使うことができる。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

毎時間、授業初めに前回の授業内容の確認テストを行います。しっかり復習するようにしましょう。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	公衆衛生と感染	公衆衛生とは何か、感染とは何か
2	感染経路と滅菌	さまざまな感染経路の種類と滅菌法
3	消毒法	消毒法について
4	消毒法②	さまざまな消毒法
5	院内感染とペットショップ内感染	院内感染とペットショップ内感染の対処法
6	ワクチンについて	ワクチンのメカニズム
7	ワクチンについて②	犬猫のワクチンについて
8	ワクチンについて③	狂犬病ワクチンについて
9	寄生虫	寄生虫の種類
10	寄生虫②	犬猫に寄生する寄生虫
11	寄生虫③	犬猫に寄生する寄生虫②
12	寄生虫④	犬猫に寄生する寄生虫③
13	寄生虫⑤	犬猫に寄生する寄生虫④
14	寄生虫⑥	犬猫に寄生する寄生虫⑤
15	期末試験	公衆衛生学Ⅰで学習した内容の試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気	期末試験	40.0%	
	確認テスト	20.0%	
	出席率	20.0%	
	授業態度	20.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物健康管理・看護学		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

動物看護の基礎的内容を身に付ける

授業終了時の到達目標

動物の健康管理と予防・日常の管理・投薬を身に付ける

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

実践した内容についてレポートにまとめ期限までに提出する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動物看護師の仕事について	動物病院について 動物看護師の仕事について 動物業界の仕事に就くには、どんな人材が求められるのか？
2	犬体各部の名称	骨格について 関節の可動域の確認 動物の持ち方
3	保定について	さまざまな動物の保定
4	バイタルチェック	動物病院で実施するバイタルチェック
5	狂犬病について	法律、予防、罰則、現状、症状 狂犬病予防注射
6	日常の健康管理	日常の健康管理とお手入れ 耳掃除・肛門嚢・眼
7	不妊手術について	不妊手術の方法 メリット・デメリット
8	手術実習	手術実習見学
9	犬猫の予防	犬猫の予防とバイタルチェック
10	よくある手術	避妊手術・去勢手術など 来院数の多い疾患　皮膚病、外耳炎、胃腸炎・・・ 夏に増える緊急疾患　　熱中症など
11	応急処置について	応急処置方法と実践
12	投薬方法	様々な投薬方法 経口投与・点眼・点耳
13	注射法	皮下注射・筋肉注射・静脈注射

回	テ　ー　マ	内　　容
14	歯について	歯の数・歯牙疾患・デンタルケア
15	期末テスト	期末テスト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
コンパニオンアニマルの健康管理学	期末試験 授業態度 実習・実技評価 出席率	60.0% 10.0% 20.0% 10.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
動物行動学		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

犬・猫の歴史、習性、行動、飼養方法について学ぶ

授業終了時の到達目標

動物の習性、行動について理解し、動物の行動の総合的理解をめざし、
ペットショップや動物病院で接する動物に対して最適な扱いを行えるようになる

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

「動物の行動と健康管理」を熟読し、事前学習を行う。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動物行動学という学問について理解する	動機付け授業として、動物行動学の授業概要を説明 ・動物行動学学者について学ぶ
2	犬と猫の行動学の基礎「動物の家畜化」について	犬・猫の進化の歴史と、野生動物から犬と猫への家畜化の過程を学ぶ
3	犬学・猫学「犬と猫の行動学的特徴」を理解する	犬と猫の行動の特徴、外観的特徴について学ぶ
4	犬・猫の成長に伴う行動の発達と機能を理解する	動物の行動には、生まれつき本能として備わっている「生得的行動」と生後の学習により獲得する「習得的行動」について学ぶ
5	犬・猫の維持行動について学ぶ	犬猫の維持行動に伴う本能行動について学ぶ
6	犬・猫の社会行動について学ぶ	社会行動で見られるコミュニケーションについて学ぶ 視覚的コミュニケーション、聴覚的コミュニケーション、嗅覚的コミュニケーションについて学ぶ
7	犬・猫の生得的行動と習得的行動	行動学における学習理論について学ぶ
8	犬・猫以外の小動物の社会行動	鳥の社会行動について学ぶ 種類による「集団行動」や「単独行動」の特徴
9	動物行動学に携わった学者たちについて学ぶ	「生得的行動」と「習得的行動」についてのまとめ
10	しつけ・トレーニング（訓練）の理論と応用を学ぶ１	しつけ、トレーニングの基本、学習理論について学ぶ
11	しつけ・トレーニング（訓練）の理論と応用を学ぶ２	犬のしつけに応用できる古典的条件づけとオペラント条件づけについて学ぶ
12	習得的行動のまとめ	行動学における学習理論としての習得的行動について学ぶ
13	犬のコミュニケーション行動	犬のコミュニケーション行動の特徴について学ぶ
14	犬のしつけ、訓練の必要性を理解する	しつけと訓練の目的。しつけを教える場合のルールについて学ぶ

回	テ　ー　マ	内　　容
15	前期期末試験	前期期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物の行動と健康管理	出席率 期末試験 授業態度	30.0% 60.0% 10.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットショップ学Ⅰ		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田　有優美

授　業　の　概　要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして３年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト.プリントを熟読する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	導入	科目の目的、ペットショップとは ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは
2	日本のペット産業の概要１	日本のペット産業の概要１
3	日本のペット産業の概要２	ペットショップの仕組み ペットショップにかかわる仕事
4	ペットショップの職業倫理と法律１	ペットショップの責務
5	ペットショップの職業倫理と法律２	動物の愛護及び管理に関する法律 人と動物の共通感染症について
6	ペットショップの職業倫理と法律３	ペットショップでの販売業務に関するルールと法律
7	ペットショップの職業倫理と法律４	ペットショップの仕事に役立つ資格
8	ペットの歴史と生態１	犬の歴史と生態
9	ペットの歴史と生態２	猫の歴史と生態
10	ペットの歴史と生態３	小動物の特徴と生態
11	犬と猫の繁殖と遺伝１	繁殖を学ぶ心得と血統書の意義
12	犬と猫の繁殖と遺伝２	犬の発情と交配 猫の発情と交配
13	犬と猫の繁殖と遺伝３	遺伝について１ 犬の遺伝様式

回	テ　ー　マ	内　　容
14	犬と猫の繁殖と遺伝４	遺伝について２ 犬の遺伝性疾患
15	期末試験	期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ペットショップ　基礎実践	期末試験 出席率 確認テスト	50.0% 20.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング総論		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ。
グルーミング、トリミング実習で必要な知識を学ぶ。

授業終了時の到達目標

ペット美容学についての基礎知識・ペット美容の必要性を学び理解する。
ＢＡＳＩＣ作業を行う基礎知識を習得する。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

トリミング実習で行った作業内容の予習、復習として学習し、実習で疑問に思った内容を知識面でカバーする。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動機付け ペット美容学で学ぶこと	・授業担当の自己紹介 ・ペット美容とはなにか？ペット美容学の概要説明 ・科目と授業の進め方、評価方法
2	トリミング実習の注意事項 実習道具の扱い方１	・トリミング実習における注意事項の説明。 ・実習中のルールとマナー ・実習室の掃除のやり方 ・実習道具の説明
3	実習道具の扱い方２	・実習道具の説明（前回の続き） ・実習道具を取り扱う上での注意事項説明 ・実習道具に名前を書く ・スリッカーブラシの使い方（ウイッグのブラッシング） ・クリッパーの扱い方と替刃の掃除方法を解説
4	実習道具の使い方３ トリミング実習の流れ	・爪切りの使い方（切り方の実践） ・カンシの使いかた（カンシに乾綿を巻く練習） ・トリミング実習の流れを説明 ・ウイッグのブラッシング ・シザーの持ち方の説明
5	グルーミングＢＡＳＩＣ作業１ 「ブラッシングの基礎知識」	トリミング実習におけるブラッシングについて説明 ・ブラッシングとは何か ・ブラッシングの目的 ・使用するブラシの種類 ・ブラッシング時の注意 ・ウイッグのブラッシング
6	グルーミングＢＡＳＩＣ作業２ 「ベイジングの基礎知識１」	トリミング実習におけるベイジングについて説明 ・ベイジングとは何か ・ベイジングの目的 ・使用する液剤の種類
7	グルーミングＢＡＳＩＣ作業２ 「ベイジングの基礎知識２」	前回授業の復習と続き ・ベイジング時の注意（ケガと予防） ・ベイジングのスキルアップのコツ ・動画にてベイジングの解説

回	テ　ー　マ	内　　容
8	グルーミングＢＡＳＩＣ作業３ 「ドライングの基礎知識」	トリミング実習におけるドライングについて説明 ・ドライングとは何か ・ドライングの目的 ・ドライング時の注意 ・ドライングのスキルアップのコツ
9	グルーミングＢＡＳＩＣ作業４ 「クリッピングの基礎知識」	トリミング実習におけるクリッピングについて説明 ・クリッピングとは何か ・クリッピングの目的 ・クリッピング時の注意 ・クリッピングのスキルアップのコツ
10	グルーミングＢＡＳＩＣ作業５ 「トリミングの基礎知識」	トリミング実習におけるトリミングについて説明 ・トリミングとは何か ・トリミングの目的 ・ペットクリップについての説明 ・シザーの名称と扱い方 ・ウイッグのトリミング練習
11	グルーミングＢＡＳＩＣ作業６ ・「リボン付けの知識と練習」	トリミング実習における「リボン付」について説明 ・リボンのつくり方とつけ方の練習
12	グルーミングＢＡＳＩＣ作業７ 「モデル犬の保定」	トリミング実習における「保定」について説明 ・保定とは何か ・骨と関節について説明 ・犬が嫌がらない保定のコツ ・口輪と拘束について
13	トリミングＢＡＳＩＣ１ 「トリミング犬種のペットクリップ１」	一般的な犬種のトリミング技法の基礎知識 ・テディベアカット ・シーズ、マルチーズ ・ウイッグのトリミング練習
14	トリミングＢＡＳＩＣ２ 「トリミング犬種のペットクリップ２」	一般的な犬種のトリミング技法の基礎知識 ・ケネルクリップ ・ポメラニアン ・シュナウザー他 ・ウイッグのトリミング練習
15	期末試験	前期末試験を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
JKCグルーミングマニュアル	期末試験 出席率 授業態度	60.0% 30.0% 10.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング基礎実習		動物健康美容学科／1年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位（180時間）	必須	佐藤　ゆかり

授　業　の　概　要

道具と犬体の扱い方、グルーミング作業の指導
授業開始前に前回の授業の反省点や良い点などを周知。
一日の目標と反省を記入するノートを作成させ復習を習慣づける

授業終了時の到達目標

実習準備ができるようになる。各作業の流れを理解できるようになる。
各道具の使い方が理解できるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	広島市内のトリマー専門学校講師として４年実務経験、動物看護師として３年実務経験

時間外に必要な学修

普段からペットカットに興味を持ち、カットの形を意識して見る

回	テ　ー　マ	内　　容
1～6	動機付け 実習の流れ、道具と犬体の扱い方、グルーミング作業を理解する	実習の注意事項を冊子で配布し、グルーミング作業の見学を行いながら実習の流れを理解する。
7～30	モデル犬のグルーミングを行う。 各自作業を自主的に行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。３～４名で１匹のグルーミング。
31～39	モデル犬のグルーミングを行う。 各自作業を自主的に行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。３～４名で１匹のグルーミング。 シザーテストを実施。
40～60	モデル犬のグルーミングを行う。 各自作業を自主的に行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。３～４名で１匹のグルーミング。 シザーテストで合格した者は部分カットを行う。
61～90	モデル犬のグルーミングを行う。 各自作業を自主的に行えるようになる。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。３～４名で１匹のグルーミング。 シザーテストで合格した者は部分カットを行う。 ボディークリッピングを行う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 授業態度 確認テスト	60.0% 20.0% 20.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
PC実習		動物健康美容学科／1年	2023／前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	甲斐　滋美

授　業　の　概　要

Microsoft社のWordを使用し、ワープロソフトの基本操作と文字を正確に早く入力する力を養い、一般的なビジネス文書の仕組みを学習する。

授業終了時の到達目標

10分間に300文字以上を入力できる
20分間で基本的な文書を作成することができる

実務経験有無	実務経験内容
有	専門学校および幅広い年齢層の学習指導経験から、将来的に役立つ実力を身に着けるような指導を行う。

時間外に必要な学修

文書採点後の復習と、入力速度を上げる練習をする

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動機づけ	今学期の予定と目標の確認、評価の説明
2	タッチタイピング	あいうえおの速い入力 10分間での計測
3	文書の設定と保存	ページ設定とファイルの保存・読み込み・印刷
4	文書の作成と級の確定	基本的な文書の構成・受験目標とする級を確定する
5	プリントの配布と練習	確定した級のプリントの配布と速度・文書作成の練習
6	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習
7	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習
8	速度・文書作成の練習	速度と文書の練習と採点と復習
9	試験対策	第124回・125回過去問で模擬試験の実施
10	検定対策	第126回・127回過去問で模擬試験の実施
11	検定対策	第128回・129回過去問で模擬試験の実施
12	ワープロ検定	ワープロ検定実施
13	図形の挿入	図形を使って地図の作成
14	カメラの画像の挿入	スマートフォンを使ってパソコンへの画像の挿入
15	期末試験	期末試験実施

回	テ　ー　マ	内　　容		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		出席率 授業態度 期末試験 実習・実技評価 課題・レポート	20.0% 10.0% 30.0% 20.0% 20.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サービス接遇		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田　有優美

授　業　の　概　要

サービス接遇３級試験の合格に向けて､サービス業務に対する心構え、対人心理、応対の技術、口のきき方、態度・振舞などを理解する。サービス(相手に満足を提供する)と接遇(相手に満足を提供する行動)を理解する

授業終了時の到達目標

サービス接遇３級試験合格。サービス業のスタッフとしてサービス接遇をこなせる

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして３年半勤務

時間外に必要な学修

検定合格の知識を身につけるため、テキストを熟読し、過去問題で試験問題に慣れる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	導入	
2	サービススタッフの資質	必要とされる要件
3	専門知識	サービス知識
4	一般知識	社会知識
5	対人技能	人間関係、接遇知識
6	実務技能	問題処理
7	模擬テスト	各自過去問題を解く
8	模擬テスト	各自過去問題を解く
9	模擬テスト	各自過去問題を解く
10	模擬テスト	各自過去問題を解く
11	模擬テスト	各自過去問題を解く
12	模擬テスト	各自過去問題を解く
13	ロールプレイング実習①	挨拶、お辞儀について
14	ロールプレイング実習②	電話対応
15	ロールプレイング実習③	姿勢と笑顔

教科書・教材	評価基準	評価率	その他

回	テ　ー　マ	内　　容		
	サービス接遇３級試験ガイド　　過去問題	期末試験	30.0%	
		出席率	20.0%	
		課題・レポート	20.0%	
		確認テスト	30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅰ		動物健康美容学科／1年	2023／前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

授業終了時の到達目標

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

自分の身近にいる社会人を見てイメージを膨らませる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	オリエンテーションの振り返り	・新入生オリエンテーションを振り返り、これからの学校生活に臨むために
2	基礎は大切	・基礎科目の大切さを確認する。
3	コミュニケーションワーク	・動く、話す、そして楽しむ
4	目標設定①	・目標と道筋と歩き方と持ち物
5	目標設定②	・目標と道筋と歩き方と持ち物Ⅱ
6	コミュニケーションワーク	コミュニケーションワーク ・目標宣言
7	目標設定③	・目的地と地図と現在地
8	自己分析①	・目的地と地図と現在地
9	自己分析②	・自分らしさの今、未来
10	自己分析③	・自分らしさの今、未来Ⅱ
11	自己分析④	・自分らしさの今、未来Ⅲ
12	目標設定④	・今の自分と目標を合わせる
13	コミュニケーションワーク	・聴き方のワーク＆チェック
14	コミュニケーションワーク	・聴き方のワーク＆チェック
15	前期総括 後期に向けての過ごし方	・『自分を磨く』農場の法則、井原恵子さんの自伝 ・成長を実感し、新しい決意をしよう

回	テ　ー　マ	内　　容		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		授業態度 出席率 課題・レポート	50.0% 20.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
犬学Ⅱ		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

本科目はトリマー・動物看護師として必要は犬の外観的特徴を理解し、多方面から犬・猫についての説明を行うための知識を学びます。犬猫の体の構造の基礎となる、骨格、筋肉、被毛の知識を学び、その特徴と飼育管理における飼主様へのアドバイスを行える人材を育成します。また犬体の特徴を理解し、イラスト描かけるようになることでトリミング仕上がりのイメージや臨床現場においての説明に役立てることができます。

授業終了時の到達目標

・犬猫の骨格、筋肉、皮ふ、被毛の構造と特徴を理解する。
・様々な種類の犬体を描けるようになる。
・トリミングの仕上がりイメージを形にすることができる。
・犬と猫の解剖的特徴・生理学的特徴　主な病気について学ぶ。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

毎回の授業の復習を行い、わからないところがあれば担当教員に質問するか自分で調べる。SNS、TV、映画、書籍などで犬を見て興味を持つ。ペットショップなどに出向き販売生体を見る。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	前期復習１	犬学の概要と授業目的、成績評価方法について、犬体を理解する
2	前期復習２	被毛と毛色を理解する。
3	犬に必要な食事と栄養１	犬に必要な食事と栄養について学ぶ
4	犬に必要な食事と栄養２	犬に害のある食物と中毒症状について理解する
5	犬の健康チェックと状態判断	犬の健康チェックで状態を判断する
6	犬の病気予防１	犬の病気予防の種類
7	犬の病気予防２	外部寄生虫の種類と対処方法
8	犬の病気予防３	内部寄生虫の種類と対処方法
9	犬の交配から出産１	犬の交配から出産についての知識
10	犬の交配から出産２	出産から仔犬の管理知識
11	老犬の飼養管理	老犬の飼養管理の知識を学ぶ
12	犬の骨格構成と歩様	犬の骨格構成と歩様の関係

回	テ　ー　マ	内　　容
13	愛犬とのお出掛け	ペットツーリズムとドッグランについて
14	前期おさらい	前期のおさらい
15	期末試験	期末試験を実施

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
くわしい犬学、授業プリント	出席率 課題・レポート 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 10.0% 60.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
飼養管理学Ⅰ		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	角田　有優美

授　業　の　概　要

動物飼養に関する知識を学ぶ
動物の習性・生理・生態を理解する

授業終了時の到達目標

愛玩動物飼養管理士2級認定試験　合格

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして３年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

授業と並行して課題提出問題と教科書を利用して自主的に勉強を行う

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動物の体の仕組みと働き①	体の基本の仕組み 栄養を取り入れる
2	動物の体の仕組みと働き②	酸素を取り入れる 老廃物の排出、異物の撃退と解毒
3	動物の体の仕組みと働き③	情報を取り入れる、体内の情報伝達 子どもを生み育てる
4	動物の飼養管理①	動物の適正な飼養・管理 動物との正しいかかわり方・動物の健康管理法と疾病予防
5	動物の飼養管理②	環境衛生・飼養管理衛生・管理衛生
6	動物の飼養管理③	動物の飼養に伴う公衆衛生・社会生活上の問題
7	犬の飼養管理	犬とはどんな動物か・犬と暮らす 犬の気持ちを理解する・犬の健康管理
8	猫の飼養管理	猫とはどんな動物か・猫と暮らす 猫の気持ちを理解する・猫の健康管理
9	その他の哺乳類の飼養管理	ウサギ・ハムスター・モルモット・フェレット・チンチラ・シマリス
10	鳥類の飼養管理	鳥類の飼養管理概論、インコ・オウム類の飼養管理・フィンチ・カナリア類の飼養管理、ニワトリ・アヒル・ハトの飼養管理、繁殖　手乗り取りとして飼養する
11	爬虫類の飼養緒管理	ムカシトカゲ目、ワニ目、カメ目、有隣目トカゲ類、有隣目ヘビ類
12	爬虫類の飼養緒管理	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み
13	動物のしつけ 学習理論	学習とは何か・生得的な行動と学習した行動 学習の種類、刷り込み
14	犬と猫の社会化	社会化とは何か、犬の社会化・猫の社会化
15	犬のしつけの基本	犬のしつけとは何か 犬の基本的しつけ方の実際

回	テ　ー　マ	内　　容		
16～30	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題	愛玩動物飼養管理士2級認定試験過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士　2級教本　第一巻		期末試験 授業態度 出席率 課題・レポート	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ペットショップ学Ⅱ		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田　有優美

授　業　の　概　要

ペットショップで求められる知識について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペットショップで即戦力となる知識を身につける

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして３年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

社会へ出る前にペットショップについてしっかり理解をし、必要な基礎知識を修得するため、テキスト.プリントを熟読する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	導入	前期の復習。ペットショップでのスタッフの役割、必要な知識とは
2	ペットの飼育と管理１	子猫の飼育と管理
3	ペットの飼育と管理３	緊急時の応急処置と対処法
4	ペットの飼育と管理４	小動物の飼育と管理
5	犬と猫の行動学としつけ１	子犬の行動の発育について
6	犬と猫の行動学としつけ１	子犬の行動の発育について
7	犬と猫の行動学としつけ２	わかりやすいしつけの方法
8	ペット栄養学１	犬と猫に必要な栄養
9	ペット栄養学２	ペットフードの基礎知識
10	ペットショップで取り扱う生体１	犬種の一般外貌と特徴
11	ペットショップで取り扱う生体２	猫種の一般外貌と特徴
12	ペットショップで取り扱う生体３	エキゾチックアニマルの一般外貌と特徴
13	ペットショップで取り扱う生体４	鳥類の一般外貌と特徴
14	後期まとめ	後期に授業内容のまとめと復習
15	期末試験	筆記試験を実施する

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ペットショップ　基礎実践	期末試験 確認テスト 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ドッグトレーニング		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

仔犬から成犬のしつけ法と、問題行動の改善について学ぶ

授業終了時の到達目標

ペット従事者として、犬のしつけ方法を習得する。お客様が飼育している愛犬の様々な問題行動に対しての改善アドバイスが出来るようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

学校や家庭で実際の犬に対して実践する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	動機付け。犬のしつけと訓練とは	ドッグトレーニングの必要性について理解する
2	ペットを飼育するために必要なこと	ペットの位置づけ、ペット従事者の役割について学ぶ。
3	日常生活に必要なしつけとは	人と犬が共存するために必要なしつけについて学ぶ。
4	しつけを教えるためのルールとサイン	犬を飼育する場合に必要な知識や準備について・視符と声符について学ぶ。
5	しつけ時に必要なもの	しつけを教えるために必要なリードやおやつについて学ぶ。
6	飼い主として、トレーナーとして	飼い主が愛犬をしつける場合の心構えについて学ぶ。
7	しつけをはじめる	しつけを始める時期とポイントについて学ぶ。
8	アイコンタクト	犬の注意を引く、犬に名前を覚えさせる方法について学ぶ。
9	ハウスのしつけを教える	ハウスのしつけの教え方について学ぶ。
10	トイレのしつけを教える	トイレのしつけの教え方について学ぶ。
11	スキンシップと遊び方	犬とのコミュニケーションをとるための方法について
12	散歩のしつけとトレーニング	散歩のしつけの教え方について学ぶ。
13	留守番のしつけとトレーニング	留守番のしつけの教え方について学ぶ。
14	飼い主のマナー	飼い主として守るべきマナーについて学ぶ。
15	期末試験	期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
動物の行動と健康管理	出席率 授業態度 期末試験	20.0% 10.0% 70.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング各論		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ。
研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を学び、AAV協サロントリマー3級筆記試験の合格を目指す

授業終了時の到達目標

ペットショップ、動物病院で求められる犬の美容技術に関する基礎知識を学ぶ。
研修先で即戦力となるグルーミングの基礎知識を学び、AAV協サロントリマー3級筆記試験の合格を目指す

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットショップ店長として経験、その他ドッグショーにおいて現役ハンドラーとして活動中。 また動物看護師としてのキャリアも持つことから、これまでの経験を活かした多方面からのアドバイスを行う。

時間外に必要な学修

実習で行った内容を知識面と合わせ予習・復習を行う。細かなコツは実習教員にアドバイスをもらう。

回	テ　ー　マ	内　　容
1	前期美容学のおさらい	前期美容学のおさらい
2	動物病院、ペットショップでのグルーミングについて	動物看護師としてのグルーミング、ペットショップトリマーとしてのグルーミングの知識を学ぶ 求められる知識と技術について
3	犬、猫の皮膚と被毛の管理について	犬、猫の皮膚と被毛の管理に必要な知識を学ぶ 被毛の状態、手入れ、育毛方法を理解する
4	トリマーに必要なしつけの知識	トリマーとして仔犬を販売する際に必要なしつけの知識 グルーミング中に行うしつけについて
5	トリマーに必要な保定の知識	犬に負担をかけず効率よく作業を行う保定方法 関節の向きと可動域について
6	トリミング手順１	トリミングの手順と作業時間の意識 クリッピング～後躯のトリミング作業のポイント
7	トリミング手順２	トリミングの手順と作業時間の意識 前肢～全体のトリミング作業のポイント
8	荒刈と仕上げ	全体的な荒刈りの技法と仕上げの技法の違いについて シザーリングとチッピングとはなにか理解する
9	グルーミング実習における問題点１	グルーミング実習における問題点の洗い出しと対策方法のアドバイスを行う
10	グルーミングのおさらい	ブラッシングからボドライング作業を効率よく行うポイントを説明 ケガをさせないために注意することとは
11	トリミングのおさらい１	プードルのトリミング仕上がりイメージ ケネルクリップとテディクリップについておさらい
12	トリミングのおさらい２	トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ シーズ、マルチーズ、ヨークシャーテリアについてのおさらい
13	トリミングのおさらい３	トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ シュナウザー、コッカー、ポメラニアンについてのおさらい

回	テ　ー　マ	内　　容
14	トリミングのおさらい４ 研修中に必要な技術とは	トリミング犬種のトリミング仕上がりイメージ ビションについてのおさらい 研修で求められる知識とは何かを説明
15	期末試験	期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル ドッグ・グルーマーズ・プロフェッショナル・ワークブック	出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング応用実習		動物健康美容学科／1年	2023／後期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位（180時間）	必須	佐藤　ゆかり

授　業　の　概　要

道具と犬体の扱い方、グルーミング作業の指導
ボディクリッピングから一般犬種の全身カットを行えるようになる。
授業開始前に前回の授業の反省点や良い点などを周知。
一日の目標と反省を記入するノートを作成させ復習を習慣づける

授業終了時の到達目標

実習準備ができるようになる。各作業の流れを把握し、自主的に作業を進めれるようになる。
ボディクリッピングから全身カットが2時間で仕上げれるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
有	広島市内のトリマー専門学校講師として４年実務経験、動物看護師として３年実務経験

時間外に必要な学修

普段からペットカットに興味を持ち、カットの形を意識して見る

回	テ　ー　マ	内　　容
1～30	モデル犬のグルーミングを行う。 各自作業を自主的に行えるようになる。 シザーで部分カット。 ボディークリッピングを行えるよう	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。１～２名で１匹のグルーミング。 シザーテストで合格した者は部分カットを行う。 ボディークリッピングを行う。
31～60	モデル犬のグルーミングを完成させる。 各自作業を自主的に行えるようになる。 ボディークリッピングから全身のトリミングを行う。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。１～２名で１匹のグルーミング。 ボディークリッピングから全身のトリミングが行えるようになる。
61～90	モデル犬のグルーミングを完成させる。 各自作業を自主的に行えるようになる。 ボディークリッピングから全身のトリミングを120分以内に行う。	各種道具の扱い方。犬体の保定。グルーミングに必要な各作業を実習。１～２名で１匹のグルーミング。 ボディークリッピングから全身のトリミンを仕上がり時間を意識しながら行えるようになる。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 授業態度 確認テスト	60.0% 20.0% 20.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ビジネス文書		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角田　有優美

授　業　の　概　要

ビジネス文書3級に合格するための知識の修得

授業終了時の到達目標

ビジネス文書3級合格。ビジネス文書をつかうことが出来る。

実務経験有無	実務経験内容
有	福山市内ペットショップスタッフ・トリマーとして３年半勤務。これまでの経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

ビジネス文書3級合格に向けてテキストを熟読し、過去問題で確認する

回	テ　ー　マ	内　　容
1	導入	ビジネス文書検定の受け方・試験の範囲・３領域の説明
2	ビジネス文書を正しく理解する	ビジネス文書の比較、社外文・社内文・通知書、ビジネス文書の種類
3	文章は正しく丁寧に書く	漢字仮名交じり文章、慣用句、漢字、文体や用字、都道府県名と県庁所在地
4	漢字仮名交じり文章、慣用句、漢字、文体や用字、都道府県名と県庁所在地	レイアウト、社内文書と社外文書の違い、
5	実用文を書くにあたって知っておくべき用語	社内文書の常用漢字、都道府県名と県庁所在地、仮名書きすべき文字、現代仮名遣いの用い方、送り仮名の付け方
6	実用文を書くにあたって知っておくべき用語2	仮名書きすべき書き表し方、日本工業規格の用語、外来語、算用数字、漢数字、句読点の付け方
7	実用文を書くにあたって知っておくべき用語3	書き誤りやすい漢字、読み誤りやすい漢字、同音異義語と異字同訓語、手紙用語
8	正確な文章を書く	よじれない文、文の形式、類義語、未満・以下の正しい使い分け
9	よじれない文、文の形式、類義語、未満・以下の正しい使い分け	社内文、箇条書き、伝言メモ、改行、棒グラフ、文章を読みやすくする、無駄のない簡潔な文章、線グラフ、棒グラフ、帯グラフ
10	礼儀正しい文章1	人を示す言葉・敬称、自他の呼び方、お・ごの使い分け、尊敬語・謙譲語・丁寧語
11	礼儀正しい文章2	特有の表現、手紙のエチケットやしきたり、敬語、慣用句
12	簡単な社内文書	書式、社内文書、記書き、帳票、過去問題
13	簡単な事務用文書・書式	業務用文書、社外文書、社内文書の書式、慣用句
14	文書の取扱	封書の宛名、わき付け・外わき付け、敬称、機密情報、郵便、用紙の大きさ・紙質、印刷物の校正

回	テ　ー　マ	内　　容
15	過去問題・苦手克服	過去問題を解く

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ビジネス文書検定3級ガイド	期末試験 確認テスト 出席率 課題・レポート	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	

科　目　名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物健康美容学科／1年	2023／後期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	矢吹　宴

授　業　の　概　要

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

授業終了時の到達目標

卒業後の社会人生活において充分に活躍できるよう、知識・スキル・精神等の人間力を高める。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

自分の身近にいる社会人を見てイメージを膨らませる

回	テ　ー　マ	内　　容
1	前期が終わり、後期が始まる	・入学直後の各自の気持ちを回顧し、後期に行っていく「就職活動の準備」に向け気持ちを切り替える
2	努力の確認①	・一般常識
3	自己分析と自己認識	自己分析と自己認識
4	自己分析から自己ＰＲへ	・面接試験や履歴書へ記入するための自己ＰＲを考える
5	価値観	・大切にしたいこと（自己分析）
6	働くとは	・就職、就職活動
7	自分に合う仕事・会社	・自己分析・企業研究
8	自分の職場を探す	・自己分析・企業研究
9	仕事・会社に合う自分	・自己分析・企業研究
10	目標と現状の確認	・目標のリニューアル
11	価値交流とコンセンサス	・コミュニケーションワーク
12	価値交流とコンセンサス	・コミュニケーションワーク
13	努力の確認②	・統一模試
14	仕事とチームワーク	・就職、仕事のためにチームワークの大切さを理解する
15	年間総括	・年間を総括して１年間の学生生活を振り返る

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 課題・レポート 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	